



月刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

94.11.21 No. 4093

12.3 スト体制の確立へ

十一月十七日、この間開催した職場意見交換会で集約した「十二月ダイヤ改」に関する職場要求を集約した申第四号に基づき千葉支社で団交が開催された。しかし、組合員からの切実な要求に対し、当局の回答は、およそ要求からかけ離れた不誠実な内容であった。

実態に合わない十五秒停車改善せよ!

千葉以東について、実態に合わない十五秒停車を改善すること。

【当局の回答及び見解】
十五秒停車については、早朝及び夜間帯のお客さまの利用実態を勘案し設定したものである。

組 無理な十五秒停車についての改善は、この間一貫した要求である。十五秒停車では、時間が足りない。

組 運転士は、基本動作として、客扱いが終わってから、パイロット点灯確認、出発信号確認、ブレーキ 緩解確認、ノッチオンという ことで、起動まで時間はかかる。

当 十五秒停車は、「六一・三ダイヤ改」から導入した。内房線でも二二時頃、大貫青堀あたりは乗客が多い。ドアが閉まらず開閉を煽ることも多い。乗客の多い駅では、延発となる。実態に見合っていない。ドアの開閉だけで八秒はかかる。残りは七秒、その間に客扱いがある。運転士だつて基本動作がある。

組 十五秒停車は、到着時分を早めることである。会社もこれについては、実測した。ドア開閉に二・四秒、基本動作が六・八秒、発車できるまで十三秒となっている。

組 到着時分をつめれば、停車時分と運転時分を短くする。運転時分をつめるために当局はヘッドカットを行い、ブレーキ力を強めた。ヘッドカットを行なつて以降、電車の乗り心地が悪いという評判だ。当局だつて、ブレーキ扱いだけが人がでているのは承知しているだろう。運転士は、「どんなブレーキ扱いをしたのか」といつて当局から責められる。運転時分・到着時分を無理につめていくことに原因がある。

当 早く到着させることが、旅客サービスである。

組 乗客が一定程度乗降する駅では、十五秒停車を解消するべきである。

この回答が誠実? 申4号交渉

携帯時刻表の必要事項の記載要求さえ拒否!

【当局の回答及び見解】
携帯時刻表については、運転に必要な情報は、記載していると考えている。

組 携帯時刻表に運転士にとって最低必要な情報を記載するべきである。特に紛らわしい駅について、必要である。また、単線区間の列車交換についても必要である。ここで交換と解つていけば、出発信号がなかなか開かなくとも気が付く。

当 システム上記載はできない。運転士には、必要な情報の資料があるはずである。

組 運転している時に、いちいちダイヤグラムを取り出して確認するという余裕はない。

列車によって紛らわしいものがある。必要な情報を記入することは、必要である。当 各区においてアンケートを取つて、携帯時刻表に色塗りをしたりした。組 単線区間は交換列車が遅れた場合、「なんで出発信号が開かないのか。」ということも交換と時刻表に書いてあれば、理由が解る。交換の場合は、行き違いの「ユ」とでも記載すればいいのではないかと、新システムでも行なえる。列車退避の場合もわからない。運転時分だけ携帯時刻表に記載してあるのみで退避なら退避とわかるようにするべきだ。各区では、当局に必要事項を記入するよう要請すると、支社から規制がかかるといっている。何故規制するのか。当 規制していることはない。支社からの指導で余計なものを書くと言われている。現場で言っている。当 支社からの情報については統一してなければならぬ。組 それでは規制していることと同じではないか! 職場の運転士の総意で「交換」という情報が入った方がいいという意見であれば、記入してもいいのか。当 しかし交換で相手列車が遅延した場合見えやすいというところもある。記載しないほうがいい場合もある。組 列車遅延の時は、例外である遅れがある場合だからこそ運転士は気を付ける。新システムが導入される前は、各区において〇〇M交換や着発番線だとか記載され、間違えやすいところには、色塗りをしたりしていたが、問題はなかった。携帯時刻表は、運転士が間違えなければいいというだけのものである。当 現在の携帯時刻表で行きたいと考える。問題があれば検討したい。

この他、列車無線の導入、PRCシステムの問題、乗客を乗せたまま併結作業の問題、設備要求などについて団交したが、ほとんどが対立のままとなっている。

休日ダイヤをようやく提示
また千葉支社は、この日の団交が終了してからやっと休日ダイヤを提示してきた。ダイヤ改まであとわず二週間余である。この間、休日ダイヤのほうの問題がある区もある。これでは、問題点を現場から出しても、修正する余裕など全くないではないか。

また、館山・勝浦・銚子などの駅の作業ダイヤとの調整が違つていたとして、出勤時刻、労働時間等の修正が提示された。この不誠実な対応を弾劾し、団交を強化しよう! 十二・三ストの準備体制を確立しよう!

また、館山・勝浦・銚子などの駅の作業ダイヤとの調整が違つていたとして、出勤時刻、労働時間等の修正が提示された。この不誠実な対応を弾劾し、団交を強化しよう! 十二・三ストの準備体制を確立しよう!

また、館山・勝浦・銚子などの駅の作業ダイヤとの調整が違つていたとして、出勤時刻、労働時間等の修正が提示された。この不誠実な対応を弾劾し、団交を強化しよう! 十二・三ストの準備体制を確立しよう!